

待機児童対策等の取り組みについて

本市では、平成28年度から待機児童解消に向けた緊急対策を行い、6年間で約5,800人の受入枠増を図ってきましたが、保育所利用希望者の増加により、令和4年4月1日現在で100人の待機児童が発生しています。今年度の施設整備により、約210人の受入枠を確保できる見込みですが、令和5年4月の待機児童数は昨年度並みで、1歳～3歳児に一定数発生する見込みです。

このような状況を踏まえ、令和5年度は240人の受入枠の拡充計画を立て施設整備を行うとともに、保育士確保施策を継続することで、待機児童対策に取り組めます。

【参考：就学前児童数と認可保育所等の申込児童数等の推移（2018～）】（単位：人）

	2018.4	2019.4	2020.4	2021.4	2022.4	2023.4
就学前児童数(A)	16,745	17,049	17,233	17,071	17,157	17,034
受入枠	5,863	7,085	7,488	8,564	9,145	9,358
申込児童数(B)	7,149	7,729	8,265	8,451	8,776	9,345
保育所等申込率 (B/A)	42.7%	45.3%	48.0%	49.5%	51.2%	54.9%
待機児童数	571	412	365	149	100	-

※受入枠は、子育て安心プランの利用定員数から、幼稚園預かり保育事業の枠を除いた数値。

1 受入枠の拡充【令和5年度予算額 831,016千円】

令和5年度の保育所等整備計画及び平成28年度からの拡充実績は以下のとおりです。

計 画	①保育所等の新設、増築2か所	162人
	②小規模保育事業所の設置4か所	76人

【緊急対策により拡充した受入枠実績】

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
+786人	+949人	+1,882人	+403人	+1,196人	+581人	+213人

**7年間で受入枠約6,000人拡充
2016年（平成28年）4月1日から約2.36倍**

【参考：今年度の施設整備状況】

NO	内容	施設数	合計
1	保育所	2	136
2	小規模保育事業所	1	12
3	保育所や幼稚園の認定こども園移行等	15	65
	受入枠合計	18	213

なお、現在待機児童となっている児童を、緊急臨時的に受け入れているあかし保育ルーム西新町園については、待機児童数の減少に伴い利用者数が減っていることから、令和5年度中での見直しを行います。

2 保育士確保と質の向上【令和5年度予算額 396,301千円】

保育士の確保、定着、専門性向上に向けた施策を引き続き実施することで、子どもにとって良好な保育環境を整えるために必要不可欠である保育士の量の確保及び質の向上に取り組めます。

具体的には、これまで実施してきた、市内私立保育所等に勤務する保育士に対する経済的支援や私立保育所等に対する処遇改善事業、保育士総合サポートセンターを活用した就業支援事業などの保育士確保策を引き続き実施するとともに、就職フェアや研修などについては新型コロナウイルス対策を十分に講じたうえで実施します。

また、保育所の職場環境向上に取り組む法人に対する支援も引き続き実施します。